

令和2年一般会計決算（総合政策部）質疑一覧

質疑者	担当課	決算書・決算資料・部提出資料	事業名	内容
糸目委員	危機管理課	決算書 422-427 決算資料 P32 部提出資料	消防活動推進事業	①消防団員で、訓練や火災出動に一度も出たことがない団員の数は。またその団員に支払われた団員報酬の総額は。 ②予算2,713万2千円に対し、決算額が2052万1千円と遂行率が低い。この理由は。
竹若委員		決算書 決算資料 P29【2】 部提出資料	防災・減災について	①「自助及び共助」の定義は。 ②防災における最悪の事態の想定は。 ③県の防災マップでは、市庁舎や甲南地域市民センターは浸水し、救援活動はままならない状態。そのようなところから自主避難場所に物資は運べないのでは。自主避難場所に必要な避難所装備を置くべきでは。
竹若委員	政策推進課	決算書 決算資料 P33 部提出資料	自治振興会の在り方	①自治振興会は市民が自主的に作った組織で間違いはないか。 ②「市民参画協働推進検討委員会」の7つの提言で、区（自治会）、自治振興会の地域課題が解決できるか。 ③区や自治会の多くは、永きにわたり続けてこられたすばらしい自治組織であり、そう簡単に変えられるものではない。どのようにしようとしているのか。
小西委員		決算書 決算資料 P33 部提出資料	自治振興交付金交付事業	①コロナ禍のもと、事業加算金が返還される中で「人口減少や少子高齢化等の地域課題への取り組み等」の具体例は。 ②事業加算金780万4,072円の返還額の主な事業内容は。 ③自治振興交付金の返還額から事業加算金を差し引いた額の返還団体数と内訳は。
山岡委員		決算書 決算資料 P33 部提出資料		①事業加算金から事務加算金へ補填できる割合を1割から2割にした自治振興会と事務加算金の活用状況は。 ②コロナ禍のもと、事業加算金で当初予定していた事業が未執行となり、12の自治振興会が交付金を返還している。使い切った自治振興会は何に使ったのか。返還した振興会はどのような事業ができなかったのか。全体として、執行状況を担当課としてチェックしたのか。
竹若委員		決算書 決算資料 P32, 33 部提出資料	地域情報化推進事業 地域情報基盤整備事業	①「甲賀市地域情報化計画」との整合性は。2007年度から2012年度以降の計画は。 ②市が管理している光ファイバーの今後の在り方とその計画は。

質疑者	担当課	決算書・決算資料・部提出資料	事業名	内容
山岡委員	情報政策課	決算書 決算資料 P 3 3 部提出資料	地域情報基盤整備事業	音声端末の加入世帯は、令和 2 年度末で 5 7 %、目標は令和 6 年度で 7 0 % となっているが、令和 2 年度末での新たな設置数とその特徴、今後の設置促進のポイントは。
山岡委員		決算書 P 1 5 0 決算資料 部提出資料 P 6、7	おうみ自治体クラウド（業務委託）	おうみ自治体クラウド・住基ネット運用保守サービス：8 万 8 千円 おうみ自治体クラウド・甲賀市基幹系システム構築業務委託：6, 6 0 0 万円 おうみ自治体クラウド・R P A 及び A I - O C R 導入：1 5 2 万 9 千円 以上の点について、自治体クラウドの収支報告はあるか。県内加入自治体を合計すると、どれくらいの規模か。監査機能は働いているか。